

# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年5月9日(木)午前 <u>午後</u> 1時～ 令和元年5月10日(木)午前 <u>午後</u> 5時	
場所	明治大学	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	横手⇒東京(高速バス)	7,000
	東京⇒横手(新幹線)	11,980
	参加費	15,000
	宿泊費	13,400
		経費合計 47,380
実施概要と所感	第11回日本自治学会研究大会(主催:日本自治創造学会)  概要と所感は別紙	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

# まちandまちこのHotNews

☆

☆

## 「第11回日本自治創造学会研究大会」

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会

これまでの記事

▶▶ [檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし](#)

▶▶ [第41回平和憲法をまもる秋田県民集会](#)

▶▶ [新年度が軌道に乗ってきました](#)

▶▶ [横手市 地域支えあいネットワーク市民集会](#)

▶▶ [第35回「議員の学校」講義4](#)

▶▶ [第35回「議員の学校」講義3](#)

▶▶ [「第35回議員の学校」講義1, 2](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2, 3](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部](#)

▶▶ [第46回市町村議会議員研修会IN静岡](#)

▶▶ [かえっこバザール](#)

▶▶ [ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～](#)

▶▶ [「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾](#)

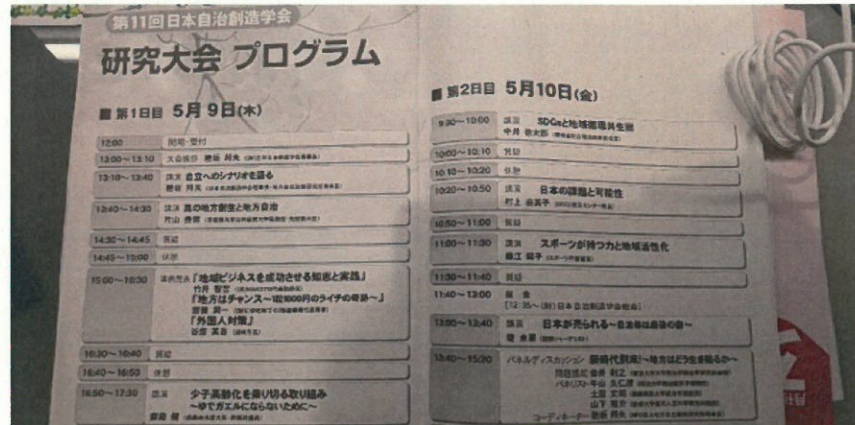
▶▶ [立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー](#)

▶▶ [新年明けましておめでとうございます](#)

▶▶ [厚生常任委員会の研修視察3日目](#)

▶▶ [厚生常任委員会の研修視察2日目](#)

5月9～10日、明治大学に行ってきました。この難しいご時世に地方自治を担うべき役目を、自分はどうか果たしていけばいいのか？様々な考えの人達が、大学や仕事の中で研究を重ねて議論する場に、1000人を超える地方議員の一人として参加した次第です。写真の通り、大変盛り沢山の内容でした。



大きな流れは「中央政府の方向性の誤りは基礎的自治体の危機」がテーマになっていて「来年のオリンピックが終わればクローズアップされるのは、人口減少と高齢化」との大会挨拶です。それが「自立へのシナリオを語る」という穂坂理事長の講演でした。2日間のうち特にガーンと響いたことを報告します。





# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 2

これまでの記事

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会](#)

▶▶ [檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし](#)

▶▶ [第41回平和憲法をまもる秋田県民集会](#)

▶▶ [新年度が軌道に乗ってきました](#)

▶▶ [横手市 地域支えあいネットワーク市民集会](#)

▶▶ [第35回「議員の学校」講義4](#)

▶▶ [第35回「議員の学校」講義3](#)

▶▶ [「第35回議員の学校」講義1, 2](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2, 3](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部](#)

▶▶ [「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部](#)

▶▶ [第46回市町村議会議員研修会IN静岡](#)

▶▶ [かえっこバザール](#)

▶▶ [ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～](#)

▶▶ [「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾](#)

▶▶ [立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー](#)

▶▶ [新年明けましておめでとうございます](#)

▶▶ [厚生常任委員会の研修視察3日目](#)

「第11回日本自治創造学会研究大会」 2

片山善博 早稲田大学大学院教授の講演「真の\*地方創生\*と地方自治」は衝撃的でした。

過疎地域振興政策のひとつとして、財政破綻を免れるために(横手市も)合併した。しかし真剣に地域で議論したのか？

過疎地域は人口減少が進んでいるからと、国の政策を受け入れ続けたら本当に消滅してしまう。真の地方創生を考えるのは地方議会でなければならない。国の言いなりになってはいけない!。住民(特に若者)中心に地域の将来を議論すべきで、市から県に、逆の権限委譲があっても良い。犬山市や名古屋市は市民発言の機会を条例で保障していて、市民が議案をひとつひとつ審議していき、それを受けて議員間討議をする。議会のミッションは決めること!質問などは誰でもできる。

具体例を、次のように紹介されました。\*小学生のランドセルを軽くすることは、国ではなく自治体でできるはず!と。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

## 「第11回日本自治創造学会研究大会」 3

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 3

これまでの記事

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 2

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会

▶▶ 檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし

▶▶ 第41回平和憲法をまもる秋田県民集会

▶▶ 新年度が軌道に乗ってきました

▶▶ 横手市 地域支えあいネットワーク市民集会

▶▶ 第35回「議員の学校」講義4

▶▶ 第35回「議員の学校」講義3

▶▶ 「第35回議員の学校」講義1, 2

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2, 3

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶▶ 第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶▶ かえっこバザール

▶▶ ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶▶ 「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

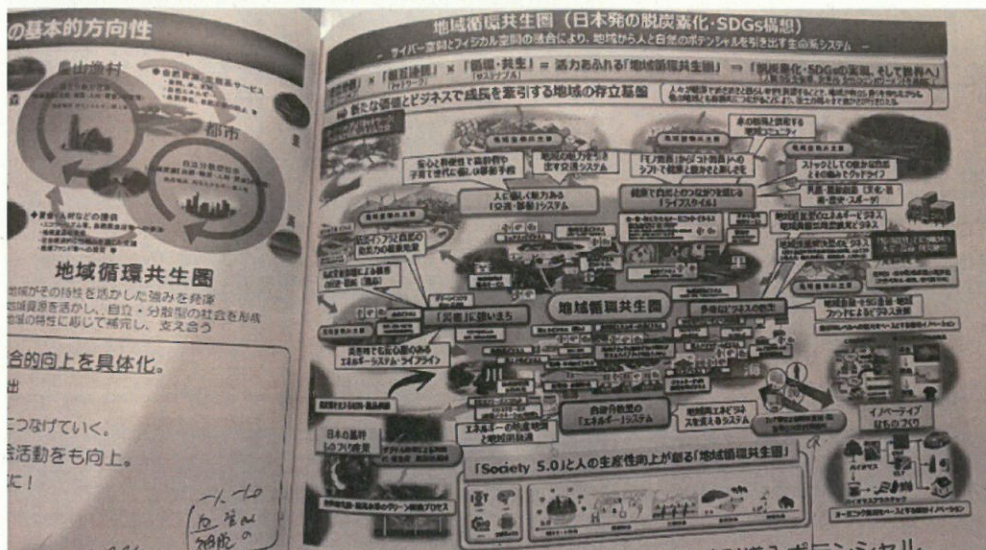
▶▶ 立地適正化計画と

中井徳太郎氏(環境省総合環境政策統括官)の講演は「SDGsと地域循環共生圏」というテーマでした。

まずおさらいです。「このままでは世界が立ち行かない」という国際社会の強い危機感も背景に、2015年9月、国連持続可能な開発サミットで持続可能な開発目標(sustainable development goals)が採択。ここには17の開発目標が掲げられており、2018年4月に閣議決定された第五次環境基本計画はこの考え方も活用して環境、経済、社会の統合的向上を具体化したとのこと。

その具体的方向性として地域の各要素が自立、分散して機能する「地域循環共生圏」を創造すること。あまりイメージは沸きませんが、再生可能エネルギーによる地域活性化の全国でなされている実践例を紹介されました。

横手市も広く浅くは実践しているものの、木質バイオマスや脱炭素型の地域交通などに特化した取組みを深めることが必要と痛感しました。





# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 4

これまでの記事

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 3

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 2

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会

▶▶ 檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし

▶▶ 第41回平和憲法をまもる秋田県民集会

▶▶ 新年度が軌道に乗ってきました

▶▶ 横手市 地域支えあいネットワーク市民集会

▶▶ 第35回「議員の学校」講義4

▶▶ 第35回「議員の学校」講義3

▶▶ 「第35回議員の学校」講義1、2

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2、3

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶▶ 第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶▶ かえっこバザール

▶▶ ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶▶ 「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶▶ 立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

「第11回日本自治創造学会研究大会」 4

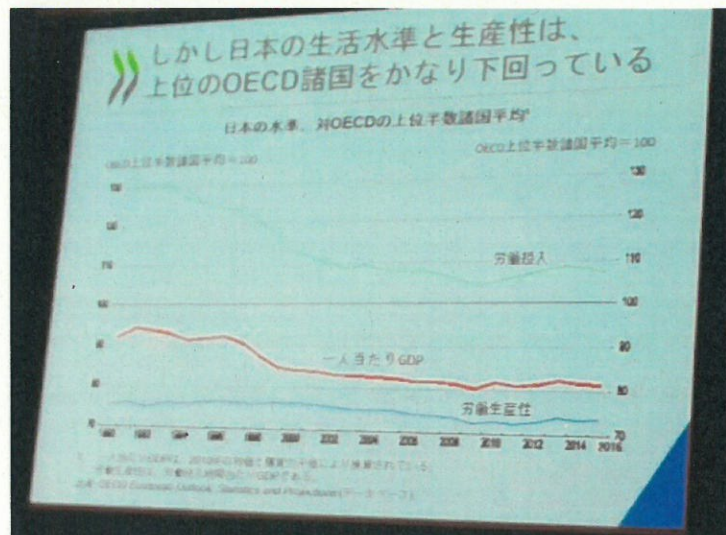
村上由美子氏(OECD東京センター所長)の講演は「日本の課題と可能性」です。

まずOECDの仕事は、経済分析と経済政策の提言であって、日本が世界の枠組から見たときに、どういう立ち位置にあるのか！を示すのだそうです。

世界の特徴を3つ挙げられました。①テクノロジーが職場を変える...日本の失業率はまだ低いのだが労働市場の二極化が進む(中途半端なスキルの仕事がなくなる) ②世界の中の各国で絡み統合されている(EUなど) ③世界中が高齢化(日本が数年先んじている)。頷きました。

OECDはよく学力の比較調査をしています。成人の場合の学力は、読解力と数的思考力に分けられどちらも日本が基本的に世界一...新しいことを学ぶ力があると。そして男女ともにフィンランドを抜いて世界一ということは、成人女性の学力を社会で活用できていないことを示すとも説明されました。

しかし問題解決能力を高めるための方策は子ども時代の学校におけるカリキュラムの縛りをゆるくしているフィンランドが優れているそうです。先生も生徒も自由に学びたいことを学んでいるとのこと。ちょうどTVニュースで千代田区立麹町中学校で、それと同じく生徒が自主的に授業でタブレット端末を使って自由に学んでいる場面を見ました。少しずつ日本でも実践しているのですね。





# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 5

「第11回日本自治創造学会研究大会」 5

これまでの記事

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 4

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 3

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 2

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会

▶▶ 檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし

▶▶ 第41回平和憲法をまもる秋田県民集会

▶▶ 新年度が軌道に乗ってきました

▶▶ 横手市 地域支えあいネットワーク市民集会

▶▶ 第35回「議員の学校」講義4

▶▶ 第35回「議員の学校」講義3

▶▶ 「第35回議員の学校」講義1、2

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2、3

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶▶ 第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶▶ かえっこバザール

▶▶ ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶▶ 「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶▶ 立地適正化計画と地域公

こちら中央からのお話です。文科省スポーツ庁の藤江陽子審議官の講演でした。

「スポーツが持つ力と地域活性化」というテーマなので「スポーツで横手市を豊かにする条例」を議員提案で作った私達として、しっかり学ばなくちゃ！とカラフルな写真を撮ってきました。



2012年にスポーツ振興法が「我が国社会の発展に貢献する」ため制定され2015年10月にスポーツ庁が発足しました。2017年4月～2022年3月にわたる5年毎のスポーツ基本計画には、人生、社会、世界、未来と4つの指針がおかれたと。目下インバウンドの数値目標が2015年の138万人→2022年には250万人とされ、それを受けてスポーツ庁としては重点テーマを①アウトドア ②武道 と掲げスポーツツーリズムを2015年2204億円→2022年3800億円とし、持続的なまちづくりを進められたい！とお話でした。

横手市としてヒントを頂いたのは、廃止の議論がなされているスキー場などの資源を観光その他との掛け合わせの工夫によって、地域ならではの地域活性化を！ということです。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 6

これまでの記事

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 5

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 4

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 3

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会 2

▶▶ 第11回日本自治創造学会研究大会

▶▶ 檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし

▶▶ 第41回平和憲法をまもる秋田県民集会

▶▶ 新年度が軌道に乗ってきました

▶▶ 横手市 地域支えあいネットワーク市民集会

▶▶ 第35回「議員の学校」講義4

▶▶ 第35回「議員の学校」講義3

▶▶ 「第35回議員の学校」講義1、2

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2、3

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶▶ 「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶▶ 第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶▶ かえっこバザール

▶▶ ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶▶ 「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合

「第11回日本自治創造学会研究大会」 6

最後の講演は、国際ジャーナリストの堤未果氏による「日本が売られる～自治体は最後の砦」というショッキングなお話でした。詳しくはご本人の最新著書「日本が売られる(幻冬舎新書)」を読みましょう。

冒頭、氏は「大事な法案が国会を通過するとき必ずワイドショーで別のニュースを一日中流す」と。その通り!と思いました。

外国を侵略し世界を手に入れるには軍事力よりも「水」と「食」を武器にすることを為政者は狙っていると。イラク戦争は石油よりも食料の種!がアメリカの目的だったとのこと。

水は80年前から民間運営が世界中で実はやられてきた。料金値上げは勿論だが水質検査の人件費をカットするため国民の命が危険にさらされる。途上国では暴動が起こり2000年をピークに再公営化が始まったのに日本は昨年8月水道法を改訂した。それも民営化ではなくコンセッション方式だから運営権の売却なので地方議会の監視体制がなくなったことが一番の問題だと。

今こそ地方自治、地方の力が大切であり、地方に生まれ、その土地で100年先も幸せに暮らせるようにするのが地方議会の役割だ!と改めて教えて頂きました。

# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年5月20日(月)午前 <u>午後</u> 1時～ 令和元年5月21日(木)午前 <u>午後</u> 5時	
場所	中央大学するが台記念館	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	横手⇒東京(高速バス)	9,500
	参加費	30,000
	宿泊費	16,800
		経費合計 56,300
実施概要と所感	第47回市町村議会議員研修会 in 東京(主催:株式会社自治体研究者)  概要と所感は別紙	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

## ▶▶ 第47回市町村議会議員 研修会

これまでの記事

### ▶▶ [第36回議員の学校](#) ---講義3

### ▶▶ [第36回議員の学校](#) ---講義2

### ▶▶ [第36回議員の学校](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会 6](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会 5](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会 4](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会 3](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会 2](#)

### ▶▶ [第11回日本自治創造学 会研究大会](#)

### ▶▶ [檻の中のライオン~憲法 がわかる46のおはなし](#)

### ▶▶ [第41回平和憲法をまもる 秋田県民集会](#)

### ▶▶ [新年度が軌道に乗ってき ました](#)

### ▶▶ [横手市 地域支えあい ネットワーク市民集会](#)

### ▶▶ [第35回「議員の学校」講 義4](#)

### ▶▶ [第35回「議員の学校」講 義3](#)

### ▶▶ [「第35回議員の学校」講 義1、2](#)

### ▶▶ [「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部 報告4](#)

### ▶▶ [「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部 報告2、3](#)

### ▶▶ [「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部](#)

### ▶▶ [「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午前の部](#)

### ▶▶ [第46回市町村議会議員 研修会IN静岡](#)

## 「第47回市町村議会議員研修会」

5月20日、中央大学駿河台記念館に来ています。この研修の目的は「地方自治の潮流を見据え、展望をひらく政策立案にむけて課題を整理する」というものです。

初日は中山徹奈良女子大学教授による講演「自治体再編の潮流とこれからの自治体-まちづくり」です。

\*「再編って？」1960年代からの高度経済成長期、太平洋ベルト地帯に大勢の労働者が集まり大都市のニュータウン開発が進んだ。その20年後の今、再び大きな転換点=輸出主導型から、多国籍企業型の産業構造に変わった(限られた財源を国際競争力強化に使うため年功序列の賃金体系を止めたり社会保障制度の見直し)=新自由主義的な改革+急激な人口減少...私の年齢ではこの変化は身をもってわかります。

\*では国の目論む再編とは

- ①コンパクト(中心部への集中)=\*国土は地方から東京へ\*地域は周辺から中心市へ\*農村は周辺から小さな拠点へ→中心以外は衰退消滅?
- ②従来の一部事務組合とは異なる連携型再編(県庁所在地に連携中枢都市圏)
- ③行政責任の後退(コミュニティと民間へ丸投げ)。

●自治体は存続のためにどうするか?

政府の意向に沿って自治体が再編を進めるしくみが地方創生(このことは大半の自治体、住民が気づいている)だが、カジノや駅前開発などで乗り切ろうとする開発型自治体、職員の削減やアウトソーシングなど歳出削減を続ける削減型自治体→どちらも住民生活は悲惨!結論は、市民共同自治体の政策を!!(保守対革新では何も生まれない。

地方を守る一点で保守も革新も共同するべき)その際\*医療と福祉と教育だけでは片手落ちであり、地域経済対策が必要=市民の立場でどう発展させるかは地方議会の役割!コンパクトではなく、日常生活圏の整備がまちづくりの目標になるべきであり、コミュニティ(日常生活圏)に対応する行政組織の確立=フルセット型出張所をつくっていこう!!

行政にとって必要な効率化は民営化ではなく地域化である!とまとめられました。

フロアから自治体職員の非正規増加は大問題であり、自治体が若者の仕事を奪っている=官製ワーキングプアをつくっている現状をどう打開するか!が質問されました。自治体自身が正職員を増やし確保することはできるのであり、行政と議会がそれを追求しなければならない!と強調されました。まちづくりは人づくり=この地域のために行動できる人をたくさんつくっていこうと。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

## ▶▶ 第47回市町村議会議員 研修会 2

これまでの記事

### ▶▶ 第47回市町村議会議員 研修会

### ▶▶ 第36回議員の学校 ---講義3

### ▶▶ 第36回議員の学校 ---講義2

### ▶▶ 第36回議員の学校

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会 6

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会 5

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会 4

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会 3

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会 2

### ▶▶ 第11回日本自治創造学 会研究大会

### ▶▶ 檻の中のライオン～憲法 がわかる46のおはなし

### ▶▶ 第41回平和憲法をまもる 秋田県民集会

### ▶▶ 新年度が軌道に乗ってき ました

### ▶▶ 横手市 地域支えあい ネットワーク市民集会

### ▶▶ 第35回「議員の学校」講 義4

### ▶▶ 第35回「議員の学校」講 義3

### ▶▶ 「第35回議員の学校」講 義1, 2

### ▶▶ 「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部報 告4

### ▶▶ 「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部報 告2, 3

### ▶▶ 「幼児教育・保育の無償 化と保育行政」午後の部

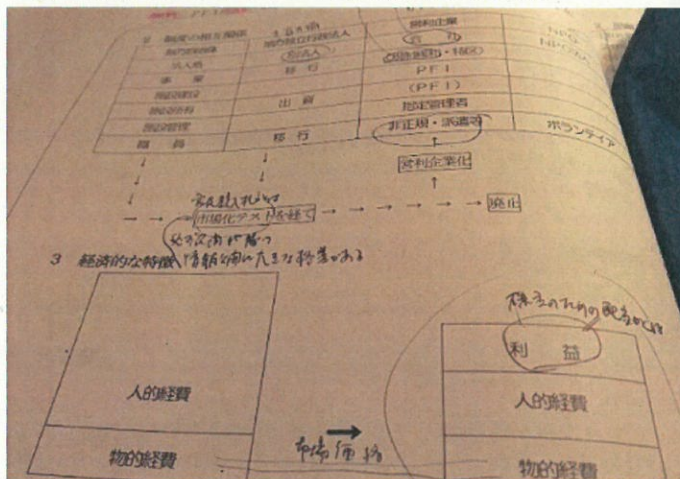
## 「第47回市町村議会議員研修会」 2

5月21日は3つの選科のうち「どう向きあう、これからの公共サービスの民営化、広域化」を受講しました。

講師は尾林芳匡弁護士で長年にわたり自治体の民営化等々で全国の住民とともに運動を展開してこられた方です。そのきっかけを話して下さいました。

2006年8月埼玉県ふじみ野プール事故で女兒が亡くなった事件がありました。数日前に金網が外れていたことが指摘されていたのに委託業者の孫請会社で何も教育を受けていない学生アルバイトが危険性に気づかずそのままにしたことが直接原因ですが、市町村合併による巡回の減少も要因。下請会社担当者が略式起訴、数ヶ月前に担当課長になったばかりの市担当者は2審も禁固刑実刑で最終責任者の市長はお咎めなし！という理不尽さに衝撃を受けたことだそうです。

\*まずPFI法...1999年成立後頻りに改正され企業の使い勝手が良くなっているとのこと。メモ書きで見辛いのですが指定管理者と地方独立行政法人そしてNPOとの相互関係の分かりやすい図を紹介されました。



民営化とは、株主への配当を確保する宿命のため利益を追求するのが当たり前で、自治体の財政難を解決するから民間に委ねるなどもってのほか！(人件費や修繕費、材料費を削るしかないのだから)...2017年はPFIストップ元年！と言われるほど西尾市をはじめ住民の反対運動が盛んになった。

しかし企業は様々な分野で金儲けを企む(経済界からの提言...ダムや港湾など公共事業が落ち込む中、上下水道の更新需要増に目をつける。

所有や修繕は自治体持ちで、運営は民間のコンセッション方式の美味しさ)。宮城県や奈良市など民営化の動きがある中で、新潟県議会が国の水道法改正案に反対の意見書を2018年10月に採択した！「井戸水の飲用者もいるから水道利用者は受益者負担をするべき」という声があるが、ポリビアのように伝染病が発生すれば貧困層のみならず富裕層にも蔓延していくのだから憲法にも水道法にも「公



▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶かえっこバザール

▶ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

▶新年明けましておめでとうございます

▶厚生常任委員会の研修視察3日目

▶厚生常任委員会の研修視察2日目

▶厚生常任委員会の研修視察

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会

▶ともしび秋の大うたごえコンサート

▶核兵器禁止条約～私達ができること

▶公的扶助研究全国セミナー東京大会特別企画

▶自然エネルギーを活用した地域づくり

▶子どもの脳をいかに育むか

▶この木なんの木、きになる木～森林体験会

▶山下太郎顕彰育英会設立30周年

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

▶横手市創作子ども歌舞伎

▶那珂市訪問

▶市川房枝記念会女性と政治センター連続講座

▶2018年度特別研修の報告 続編

▶2018年特別研修報告

▶第33回議員の学校～子ども

衆衛生」の観点が明記されている。ゆえに世界では水道の再公営化が進んでいると。

\*さらに自治体の窓口関連業務をゼロックスやメンテナンス会社にアウトソーシングする動きについて言及され、擬装請け負いかあるいは労働者派遣法違反になると是正指導をうけた足立区や、包括外部委託の予算を全会一致で削除した島田市の事例を紹介されました。

議会の役割は事実、現実から出発して理論化していき議論を深めること。住民と議会のコントロールができなくなるのが民営化であり、チーム議会！で調査し論議して住民生活を守らなければいけない!!と強調されました。

# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年5月22日(水) <u>午前</u> 午後 10時～ 令和 年 月 日 ( ) 午前 <u>午後</u> 5時	
場所	横浜市 万国橋会議場	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	受講料	20,000
	宿泊費	13,100
		経費合計 33,100
実施概要と所感	第21期自治政策講座 in 横浜 (主催:自治体議会政策学会)  概要と所感は別紙	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 第21期自治政策講座  
in横浜

これまでの記事

▶▶ 第47回市町村議会議員  
研修会2

▶▶ 第47回市町村議会議員  
研修会

▶▶ 第36回議員の学校  
---講義3

▶▶ 第36回議員の学校  
---講義2

▶▶ 第36回議員の学校

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会 6

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会 5

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会 4

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会 3

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会 2

▶▶ 第11回日本自治創造学  
会研究大会

▶▶ 橋の中のライオン~憲法  
がわかる46のおはなし

▶▶ 第41回平和憲法をまもる  
秋田県民集会

▶▶ 新年度が軌道に乗ってき  
ました

▶▶ 横手市 地域支えあい  
ネットワーク市民集会

▶▶ 第35回「議員の学校」講  
義4

▶▶ 第35回「議員の学校」講  
義3

▶▶ 「第35回議員の学校」講  
義1, 2

▶▶ 「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午後の部報  
告4

▶▶ 「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午後の部報  
告2, 3

「第21期自治政策講座in横浜」

5月22日10年ぶりに横浜関内駅から歩きました。会場の万国橋会議場からは、  
みなとみらいの観覧車が見えます。



この研修で衝撃！の学びがありました。これまで「宮城じょねっと」の方々から男女共同参画センターの講座で東日本大震災の悲惨さや避難所運営の女性蔑視（男性は片付け作業等で日当が出る。炊き出しや看護、介護等は女性の無償労働。ボランティアに参加した女性まで性暴力を受けるなど）について聴いてはいましたが、科学的な調査による問題提起を初めて教えてもらいました。

元東京大学社会科学研究所の大沢真理教授の講義でテーマは「肝心な場所に女性がいな～男女共同参画から見た災害時の課題」でした。

①災害が大きいほど女性の犠牲が大きい(災害被害にも男女格差)。避難生活の困難さから関連死が多い。女性は普段の役割やコミュニティのネットワークを活用し緊急時の融通と相互扶助ができる。一方で公的な防災組織や緊急救援の組織の中心は男性で女性は排除される傾向にある。

②国連防災世界会議が過去3回日本で開催され2005年神戸で「災害に強い国、コミュニティの構築...兵庫行動枠組2005-2015」を採択。そこで「災害リスクは、ハザードが物理的、社会的、経済的、環境的な脆弱性と相互に作用する時に発生する」とした上で「減災(災害リスク削減)」の観点を打ち出した。その中で、ジェンダーや文化への配慮を、災害リスク軽減に関する教育訓練の不可欠な要素とすることが位置付けられた。日本政府も「防災協カイニシアティブ」を発表し、防災分野におけるジェンダーの視点を明記したが2008年、2009年度を見ても、男女共同参画推進関係予算の中で「防災、災害復興」予算はゼロ円！

③災害レジリエンス(災害にタフか、脆いか)を左右するもの

\*市町村合併により職員数も議員数も減少→実質的な避難勧告や指示の権限が曖昧で被害増大(しかし和歌山県田辺市は2011年台風12号への対応で旧町村出身の職員を各行政区に応援配置した)。

\*社会関係資本と災害死亡率が相関する。信頼関係やネットワークの意味を表す



▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶かえっこバザール

▶ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

▶新年明けましておめでとうございます

▶厚生常任委員会の研修視察3日目

▶厚生常任委員会の研修視察2日目

▶厚生常任委員会の研修視察

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会

▶ともしび秋の大うたごえコンサート

▶核兵器禁止条約～私達ができること

▶公的扶助研究全国セミナー東京大会特別企画

▶自然エネルギーを活用した地域づくり

▶子どもの脳をいかに育むか

▶この木なんの木、きになる木～森林体験会

▶山下太郎顕彰育英会設立30周年

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

▶横手市創作子ども歌舞伎

▶那珂市訪問

▶市川房枝記念会女性と政治センター連続講座

▶2018年度特別研修の報告 続編

資本であり、手間・ヒマ・関心をつぎ込む(投資する)ことによって蓄積される→「橋渡し型」の社会関係資本(ゆるい絆)で異質なメンバーを繋いだり、ネットワーク間を繋いだりすることで情報が共有できる。

④仙台防災枠組2015-2030。2015年3月14～18日、仙台での第3回国連世界防災会議で策定。そこでは防災、減災での女性や子ども、企業など多様な関係者の役割が強調された(中学生による物資渡しなど避難所運営が大人だけの係よりも円滑にできた例あり)。大沢先生は、避難行動要支援者についても高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊産婦以外に災害孤児やLGBTさらにアレルギーのある人への配慮の重要性も説かれました。

地域防災計画や避難所運営指針など、一昨年の我が市で発災した大雨洪水での対策ももっと調査し具体化していかなければ！と痛感しました。



# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年5月24日(金) <input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 10時～ 令和 年 月 日 ( ) 午前 <input type="checkbox"/> 午後 5時	
場所	東京都 全理連ビル	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	東京⇒横手(新幹線)	9,950
	参加費	10,000
	宿泊費	11,490
		経費合計 31,440
実施概要と所感	地方議員セミナー『幼児教育・保育「無償化」と保育行政』(主催:保育研究所)  概要と所感は別紙	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

# まちandまちこのHotNews

☆

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

これまでの記事

▶[第46回市町村議会議員研修会IN静岡](#)

▶[かえっこバザール](#)

▶[ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～](#)

▶[「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾](#)

▶[立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー](#)

▶[新年明けましておめでとうございます](#)

▶[厚生常任委員会の研修視察3日目](#)

▶[厚生常任委員会の研修視察2日目](#)

▶[厚生常任委員会の研修視察](#)

▶[治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会](#)

▶[ともしび秋の大うたごえコンサート](#)

▶[核兵器禁止条約～私達ができること](#)

▶[公的扶助研究全国セミナー—東京大会特別企画](#)

▶[自然エネルギーを活用した地域づくり](#)

▶[子どもの脳をいかに育むか](#)

▶[この木なんの木、きになる木～森林体験会](#)

▶[山下太郎顕彰育英会設立30周年](#)

▶[治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟](#)

▶[横手市創作子ども歌舞伎](#)

☆

1月30日特別研修 午前の部

「保育研究所主催:幼児教育・保育の無償化と保育行政～保護者・住民が求める保育施策とは」

全理連ビル9階会議室に150人以上の地方議員が集まりました。過去最多と言える参加者です。やはり「無償化」について消費税10%増税を充てることが可能なのか？国が旗を振っても、実際に当事者と身近に接する地方自治体はどう施策を講じるべきなのか？……を模索している地方議員が大勢いるということでしょう。

午前中は、保育研究所の逆井氏が「情勢解説・保育をめぐる状況」を説明されました。膨大な資料をもとにしての解説でしたが「今日における保育制度の重要課題」は

- ①保育の量的拡大
- ②保育士の処遇改善
- ③保育料の軽減と無償化

という3つで、①と②は直に関連するもの。③は複雑で、0～2歳児は住民税非課税世帯に限定し、3歳以上児が無償化の対象だが、行事費や通園バス代、給食費は対象外ということが大問題！。「食育」が重要視され学校給食も無償化が広がり始めている現実に逆行している(私は一度一般質問したのですが横手市当局は剣もホロロでした...)のです。

また、国は無償化による自治体への影響を緩和するため国1/2、県1/4、市1/4の負担案を出しましたが、全国市長会等の懸念が強いことから更に、2019年度の半年分は全額国負担、事務費の2019+2020年度分も全額国費(認可外施設等の事務費は2023年度まで全額国費に)と公表しました。

はたしてこのようになるのか？という深刻な問題提起でした。



# まちandまちこのHotNews

☆

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

これまでの記事

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶かえっこバザール

▶ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

▶新年明けましておめでとうございます

▶厚生常任委員会の研修視察3日目

▶厚生常任委員会の研修視察2日目

▶厚生常任委員会の研修視察

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会

▶ともしび秋のうたごえコンサート

▶核兵器禁止条約～私達ができること

▶公的扶助研究全国セミナー—東京大会特別企画

▶自然エネルギーを活用した地域づくり

▶子どもの脳をいかに育むか

▶この木なんの木、きになる木～森林体験会

▶山下太郎顕彰育英会設立30周年

▶治安維持法犠牲者 国家

☆

1月30日特別研修 午後の部

「保育研究所主催：幼児教育・保育の無償化と保育行政～保護者・住民が求める保育施策とは」

午後は、5人のシンポジストによる報告と質疑応答でした。

「報告1」伊藤周平鹿児島大学教授のお話です。氏は元中央省庁の官僚で、当時は残業や休日出勤が続き、あのブラックな働き方は現在の公務労働も同じだろうと言われました。「働き方改革法」で解決できるか!ということなのです。

テーマは「消費税10%増税で保育・社会保障施策はどうなる？」です。ここでのポイントを報告します。

## 1)無償化の問題点

- ①消費税増税とセット……これまで低所得世帯には自治体独自等で軽減策を講じてきた。ゆえに当該世帯には無償化の恩恵は少なく逆に消費税増税による家計の負担が増えることになる。
- ②待機児童の解消や保育士の処遇改善に、十分な財源が回されなくなる。
- ③給食費の実費徴収は、公的責任の後退になる。

## 2)子ども子育て支援

制度は、保育制度の「介護保険化」への布石……これは非常に明らか!

- ①給付金方式＝支給認定を受ける子ども・保護者への現金給付と施設・事業者による代理受領
- ②直接契約方式＝施設・事業者と子ども・保護者との契約 ◆ 民営化を進めると共に市町村の見届けが難しくなる。

3)子ども子育て支援制度の改善を!＝保育所における市町村の保育実施義務を明確にし、認定こども園や地域型保育事業(企業内保育所 など)についても市町村との契約という形にすべき。

女性の就労から始まる制度になっているが、本来は子どもの「保育を受ける権利」が一番に掲げられなければならない!と力説されました。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2、3

これまでの記事

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶かえっこバザール

▶ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

▶新年明けましておめでとうございます

▶厚生常任委員会の研修視察3日目

▶厚生常任委員会の研修視察2日目

▶厚生常任委員会の研修視察

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会

▶ともしび秋の大うたごえコンサート

▶核兵器禁止条約～私達ができること

▶公的扶助研究全国セミナー-東京大会特別企画

▶自然エネルギーを活用した地域づくり

▶子どもの脳をいかに育むか

▶この木なんの木、きになる木～森林体験会

▶山下太郎顕彰育英会設立30周年

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

▶横手市創作子ども歌舞伎

1月30日特別研修 午後の部 報告2、3

「保育研究所主催:幼児教育・保育の無償化と保育行政～保護者・住民が求める保育施策とは」

「報告2」は、ジャーナリストで名寄市立大学特命教授の猪熊弘子氏による「保護者・住民は保育行政に何を望んでいるのか～子育て中の保護者の意識や生活状況を踏まえた、より良い保育行政について考える～」でした。

ポイントは

①「保活」が大変・・・前年よりは待機児の割合が33%減少したというが、かくれ待機児は7万人と言われ、また労働条件が比較的良好な企業の正職員は、育休取得を目的に敢えて保育所入所申込の「不承認」を狙う。(女性活躍施策の浅薄さを表している)。

②保育所民営化で「トラブル」「クレーム」が増加している。しかし検証が全く行われていない！そして民営化に関し、保護者は関わることができない。

\* 保育を理解してもらうための仕組みを作る必要あり。公立で保育所を運営していなければ、内容や運営についても自治体が介入できない。保育園同士の高め合いが民営化によって難しくなる。(ただし、非正規職員は公立のほうが多い)...など現状を教えてくださいました。

猪熊氏による具体的なアンケート調査に表れた住民の声を紹介しながら切実な報告でした。

「報告3」は奥野隆一(元佛教大学教授で大阪保育研究所)氏による「保育施設の整備・再編状況と無償化の影響」についてのお話でした。

保育施設の設置者別推移・・・公立保育所:2007年に12723カ所?2016年に8917カ所(3806減)。私立保育所:2007年に9472カ所?2016年に14573カ所(5051増)...私立保育所のうち株式会社が2007年に118カ所?2016年に1236カ所(1118と伸び率大)。社会福祉法人が2006年に10153カ所?2016年に12274カ所(2121増)。という実態とのこと。

\* 子育てする基盤をどう考えるか?・・・規模が縮小すれば子どもが育ちにくいのか?

\* 子どもが育つ最高の環境とは何か?

保護者や子どもが生活している場が大切(定員割れしても他の保育所の子どもと定期的に交流することで子ども同士の関わりを広げることができる) == 保育施設の「一極集中」から地域性を活かした配慮にするべき

従って「まちづくり」の大きな要素が保育施設であり、5年ごとに「子ども子育て計画」を市町村は策定することになっていて、コンサルに丸投げするのではなく必ずニーズ調査を踏まえて政策化を進めるべき。そして保護者にとって「無償化」は、どんな影響を及ぼすのか、十分な説明・議論をする必要がある!という厳しい指摘をいただきました。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告4

1月30日特別研修 午後の部 報告4

「保育研究所主催：幼児教育・保育の無償化と保育行政～保護者・住民が求める保育施策とは」

これまでの記事

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部報告2,3

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午後の部

▶「幼児教育・保育の無償化と保育行政」午前の部

▶第46回市町村議会議員研修会IN静岡

▶かえっこバザール

▶ワンオペ脱出計画～目指せ楽しい育児～

▶「立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー」第2弾

▶立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合セミナー

▶新年明けましておめでとうございます

▶厚生常任委員会の研修視察3日目

▶厚生常任委員会の研修視察2日目

▶厚生常任委員会の研修視察

▶治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 創立50周年記念講演会

▶ともしび秋の大うたごえコンサート

▶核兵器禁止条約～私達ができること

▶公的扶助研究全国セミナー-東京大会特別企画

▶自然エネルギーを活用した地域づくり

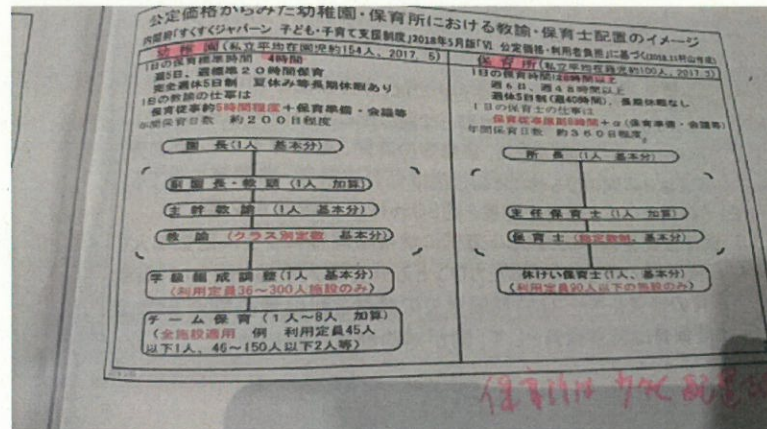
▶子どもの脳をいかに育むか

「報告4」最後のお話は、村山祐一（元帝京大学教授で保育研究所所長）氏の「保育士確保困難問題」（保育士不足）を克服する視点についての講義でした。

厚生労働省の資料によると、保育士登録者＝153万872存在する。しかしその3割弱しか従事していない。なぜ！？・・・ここで深く分析されました。

東京都で比較的労働条件の良い正規保育士が就職する際の希望条件をみると、平均勤務日数は週5日（実際は週6～7日）。平均勤務時間は7.8時間（実際は9時間以上）。平均年収は307万～320万円・・・実に控えめな希望です。

安倍首相は「保育士の皆さんの処遇を月額3万円相当改善し～」と2018年1月22日に演説しました。しかし「皆さん」とは公定価格に積算されている国の基準配置職員のことであり、実際の職員人数ではないのです！



このように、国は現実を見ていないばかりか、企業が利潤を追求しやすいように企業型保育所には手厚い補助金など極端な施策を講じています。村山先生は、公定価格が幼稚園より保育所の人員配置を少なく見積もっていることを明らかにし、幼稚園の人員状況に合わせる案を自治体からどんどん意見書を出すべき！と強調されました。

そして同時、国だけに頼らず県をも動かすことが大事だとも。(千葉県は1人2万円補助しているが、その内訳は県が1万円・市が1万円)。

保護者は泣き寝入りをするのではなく、住民・行政と知恵を出し合っ、国・県に働きかけることが子どもへの責任を果たすことだということでした。

# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年 7月26日(金) 午前 <u>午後</u> 10時～	令和 年 月 日 ( ) 午前 <u>午後</u> 5時
場所	東京都浜松町 貿易センタービル	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	セミナー代	25,000
		経費合計 25,000
実施概要と所感	<p>地方議会議員のための政策力向上セミナー「どうすれば地域の交流人口が増えるのか？」(主催:東京法令出版株式会社)</p> <p>概要と所感は別紙</p>	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。



# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶▶ 地方議会議員のための政策力向上セミナー

「地方議会議員のための政策力向上セミナー」

19. 7. 26 浜松町貿易センタービル

これまでの記事

▶▶ [行政視察 報告③ \(尾道市\)](#)

▶▶ [行政視察 報告①、② \(新居浜市\)](#)

▶▶ [第66回秋田県母親大会in大曲](#)

▶▶ [「いぶりがっこう」入学案内](#)

▶▶ [城南高校 銀杏同窓会総会](#)

▶▶ [緊急地方議員セミナー～幼児教育・保育の無償化と保育行政](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義4](#)

▶▶ [第21期自治政策講座in横浜](#)

▶▶ [第47回市町村議会議員研修会2](#)

▶▶ [第47回市町村議会議員研修会](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義3](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義2](#)

▶▶ [第36回議員の学校](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 6](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 5](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 4](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 3](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 2](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会](#)

▶▶ [檻の中のライオン～憲法がわかる46のおはなし](#)

「どうすれば地域の交流人口が増えるのか？」という研修を受講してきました。講師の菅原達也氏は、とても気さくに私たち3人の受講生に教えてくださいました。

外務省～JTＢ～英国ウエールズ大でMBAを取得。株)ナレッジハウスを設立し、大正大学の地域創生学部にある地域構想研究所の客員研究員という方です。全国様々な地域の再生や地域振興アドバイザーとして活動されている中で、失敗例も率直に教えてくださいました。そして自らもコンサルタントとして、計画まですべて作ってしまう(自治体が丸投げ)ことは間違いであり、自治体や住民が実践する「まちづくり」の環境を整えることがコンサルタントの役目だ！と力説されました。

以下、特に印象的な学びを報告します。

① 国・県・市の助成金＝3年目までで打ち切るべき！

1年目は調査・研究。

2年目はその結果を踏まえて事業計画(プログラムをつくる)。

3年目は計画実行の主体を組織化。4年目以降は自立し、やり続けること。情報発信を続けるべき＝やらないより、やって失敗するほうが今後に生かせるから。

\* 失敗する原因＝合意形成がなされない＝組織が確立していない

難しい文言はNG。簡単なスローガンで充分。合言葉を言えるようになる

＝合意形成！

② 自治体行政にマーケティングは必要

1、どんなお客に来てほしいか(移住も)ターゲットを明確にする

2、自分の住む地域の何が「押し」か(優位か)

3、プロモーション＝売り込み・宣伝

4、発信する主体(自治体)の本気度

③ 観光の定義...従来の大手旅行会社がやる着地型観光では不足

(見る・食べる・買う・泊る)・・・これでは足りない

+ 交流・共感することが「ニューツーリズム」

\* 現在ある資源を体験型・交流型の商品プログラムで開発・販売していく。

そのためには「地域人材」をつくる＝語り部など...リピーターは「人」につく。

\* 観光まちづくり実践構想のキーワード

1、住民が主役

2、目標は持続可能なまち＝3年目以降も続けること

経済活性化・住民の生活快適に・自然を大切に

\* 実際に我が横手市について参加者でワークショップをしました。



▶ [第41回平和憲法をまもる  
秋田県民集会](#)

▶ [新年度が軌道に乗ってき  
ました](#)

▶ [横手市 地域支えあい  
ネットワーク市民集会](#)

▶ [第35回「議員の学校」講  
義4](#)

▶ [第35回「議員の学校」講  
義3](#)

▶ [「第35回議員の学校」講  
義1, 2](#)

▶ [「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午後の部報  
告4](#)

▶ [「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午後の部報  
告2, 3](#)

▶ [「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午後の部](#)

▶ [「幼児教育・保育の無償  
化と保育行政」午前の部](#)

▶ [第46回市町村議会議員  
研修会IN静岡](#)

▶ [かえっこバザール](#)

▶ [ワンオペ脱出計画～目指  
せ楽しい育児～](#)

▶ [「立地適正化計画と地域  
公共交通網形成計画の整合  
セミナー」第2弾](#)

▶ [立地適正化計画と地域公  
共交通網形成計画の整合セ  
ミナー](#)

▶ [新年明けましておめでとう  
ございます](#)

▶ [厚生常任委員会の研修  
視察3日目](#)

▶ [厚生常任委員会の研修  
視察2日目](#)

▶ [厚生常任委員会の研修  
視察](#)

▶ [治安維持法犠牲者 国家  
賠償要求同盟 創立50周年  
記念講演会](#)

▶ [ともしび秋の大うたごえコ  
ンサート](#)

▶ [核兵器禁止条約～私達  
ができること](#)

▶ [公的扶助研究全国セミ  
ナー東京大会特別企画](#)

1、まず観光資源を4つに分類します。

\* 地域資源を分類①自然環境・景観 ②歴史・文化財 ③食・特産品  
④人や生活文化・・・各項目を5～10程度抽出する

\* 抽出した項目の評価...身内(内部)と外部とで

内部:愛着度と自慢度 外部:認知度と魅力度

2、分類した結果にストーリー性を持たせる=地域のブランド化→地域の認知度と  
イメージアップによる市場優位性(他の地域との差別化・競争?)...

地域住民・人が大事

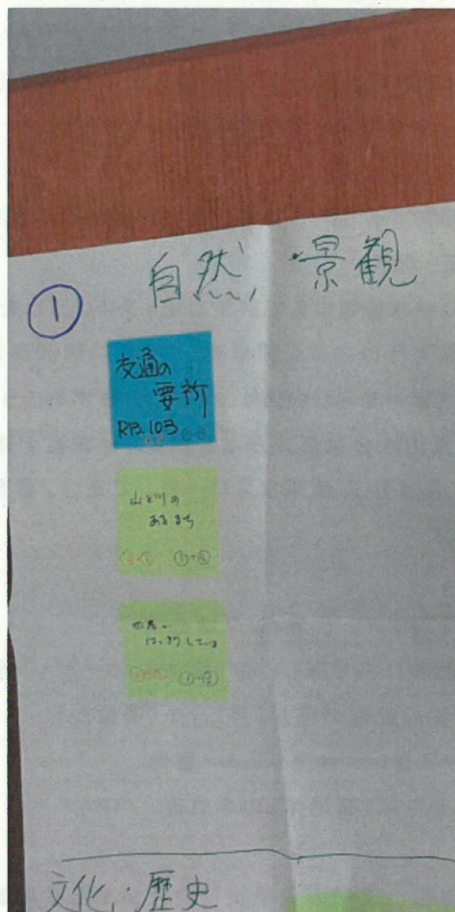
ここまでの作業を振り返り(最初は外部の知名度が低くてもかまわない)

地域の宝と人材をプログラミングする→着地型観光に→3年目には組織を作る

Destination marketing organization か 会社組織を!

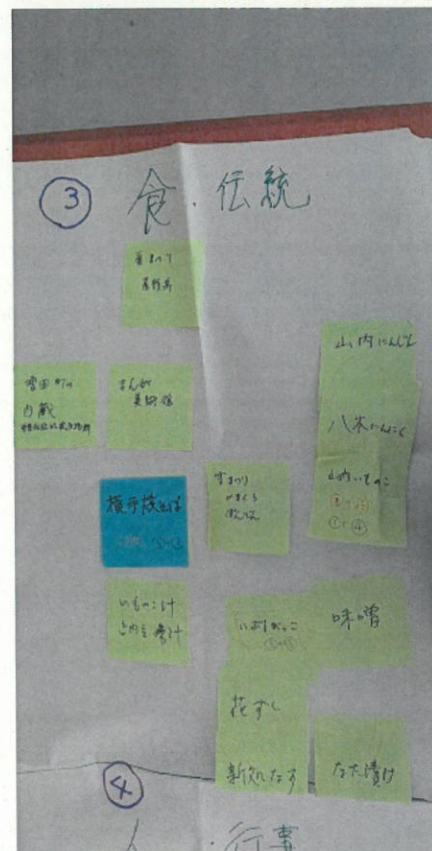
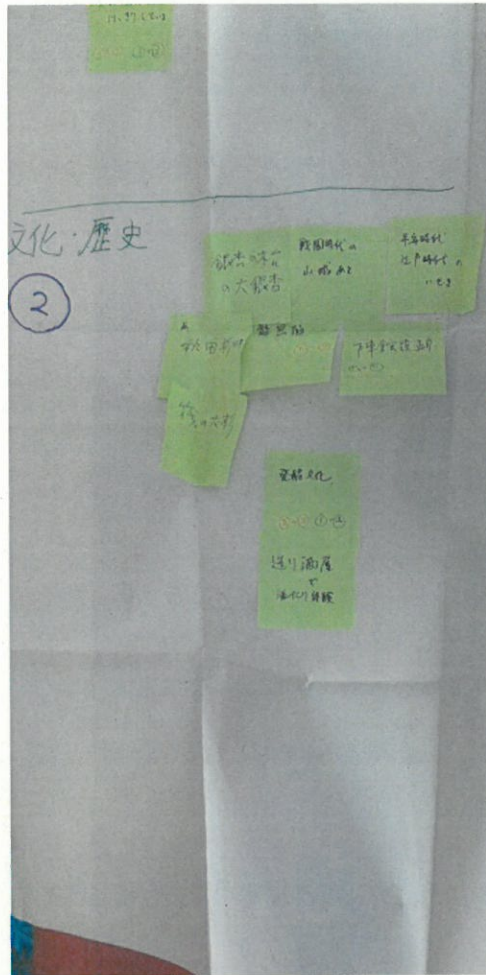
\* 助成金をあてにし打ち切られたら事業を終えるのでは地域の発展はない!

地域おこし協力隊の導入も視野に入れて、本気で取り組まなければ、地方自治  
体は今が正念場だと痛感しました。

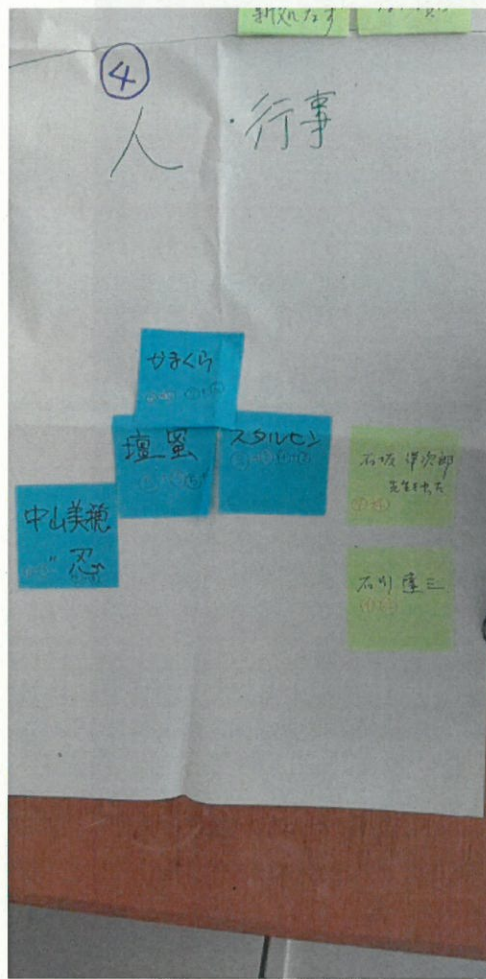




- ▶▶ 自然エネルギーを活用した地域づくり
- ▶▶ 子どもの脳をいかに育むか
- ▶▶ この木なんの木、きになる木～森林体験会
- ▶▶ 山下太郎顕彰育英会設立30周年
- ▶▶ 治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟
- ▶▶ 横手市創作子ども歌舞伎
- ▶▶ 那珂市訪問
- ▶▶ 市川房枝記念会女性と政治センター連続講座
- ▶▶ 2018年度特別研修の報告 続編
- ▶▶ 2018年特別研修報告
- ▶▶ 第33回議員の学校～子どもの権利条例と全年齢の子ども政策
- ▶▶ 第33回議員の学校～なぜ、いま、子どもの権利条例なのか？
- ▶▶ 第33回議員の学校 2日目の実践報告
- ▶▶ 第33回議員の学校 初日のエンディング
- ▶▶ 第33回議員学校 講義2の受講報告
- ▶▶ 第33回議員の学校
- ▶▶ 議会改革推進会議の行政視察
- ▶▶ 第23回清溪セミナー
- ▶▶ 健康まつり2018～スポーツで人と町を元気に！！
- ▶▶ 横手城南高校21期H組クラス会
- ▶▶ 日本一幸せな従業員をつくる！
- ▶▶ 望月衣梨子(東京新聞記者)時局講演会
- ▶▶ 平成30年度 銀杏同窓会総会
- ▶▶ これからの医療・介護はどうなる？
- ▶▶ 第44回市町村議会議員研修会in岡山...2日目



- ▶▶ [第44回市町村議会議員研修会in岡山](#)
- ▶▶ [2018全国公的扶助研究会総会記念シンポジウム](#)
- ▶▶ [第20期自治体政策講座in東京5月11日最後の講座](#)
- ▶▶ [第20期自治体政策講座in東京](#)
- ▶▶ [第40回 平和憲法をまもる秋田県民集会](#)
- ▶▶ [真夏のメーデー](#)
- ▶▶ [よくわかる！市町村財政分析講座](#)
- ▶▶ [にかほ市議選挙の応援に行ってきました](#)
- ▶▶ [2017年度の政務活動費](#)
- ▶▶ [春を告げる横手の風物詩](#)
- ▶▶ [3月の旭こども食堂](#)
- ▶▶ [新婦人の会横手支部大会](#)
- ▶▶ [平成29年度横手市多職種連携ブロック別研修会](#)





# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和元年11月20日(水) 午前 <u>午後</u> 1時～	令和 年 月 日 ( ) 午前 <u>午後</u> 5時
場所	東京都銀座 アットビジネスセンター	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他( )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	横手⇒東京(高速バス)	7,000
	東京⇒横手(新幹線)	11,970
	参加費	27,500
		経費合計 46,470
実施概要と所感	<p>第20回地方から考える「社会保障フォーラム」(主催:地方から考える「社会保障フォーラム」事務局)</p> <p>概要と所感は別紙</p>	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

# まちandまちこのHotNews



▶▶第20回地方から考える社会  
保障フォーラム

「第20回地方から考える社会保障フォーラム」

これまでの記事

▶▶[令和元年度秋田県市議  
会議員研修会](#)

▶▶[厚労省いきなりの病院再  
編！？](#)

▶▶[秋田県南地域市議会議  
員研修会](#)

▶▶[治安維持法犠牲者国家  
賠償要求同盟 第30回全国  
女性交流会](#)

▶▶[令和元年度 横手市児童  
虐待・DV防止講演会](#)

▶▶[第41回保育研究所研究  
集会 続編](#)

▶▶[第41回保育研究所研究  
集会](#)

▶▶[第51回横手市菊まつり](#)

▶▶[かえっこバザール](#)

▶▶[ほげますから、よろしくお  
願ひします](#)

▶▶[あきた女性九条の会～11  
周年のつどい](#)

▶▶[ふれあい祭](#)

▶▶[「第2回地域共生社会推  
進全国サミットin湯沢」№2](#)

▶▶[第2回地域共生社会推  
進サミットin湯沢](#)

▶▶[横手市民文化祭](#)

▶▶[さかえ地区徘徊見守り訓  
練](#)

▶▶[第4回よこてシティハーフ  
マラソン](#)

▶▶[創作子ども歌舞伎...みこ  
と演じてくれました！](#)

▶▶[横手南小学校の学習発  
表会](#)

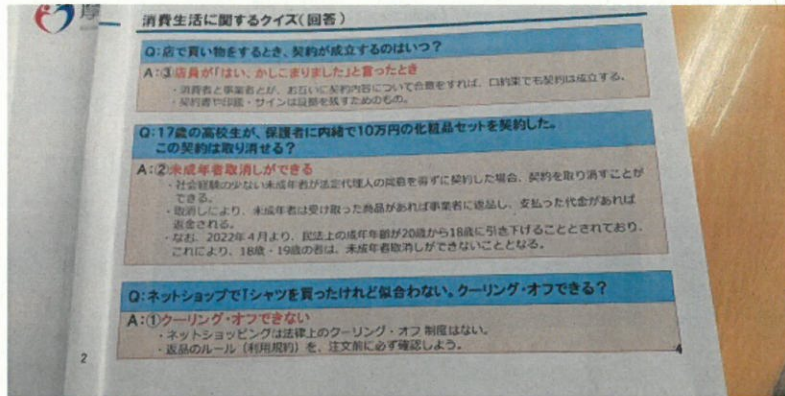
▶▶[さかえ小学校の学習発表  
会](#)

▶▶[横手市成人を祝う会にむ  
けて非核署名の訴え](#)

▶▶[地方議会議員のための政  
策力向上セミナー](#)

第41回  
保育研  
究所研  
究集会

11月20日、毎回盛り沢山の情報を提供してくれる研修です。その中でぜひみんなとシェアしたい講座を報告します。◆「地域の未来を創る消費生活」先月湯沢市で開催された全国共生サミットにもお出でになった消費者庁の伊藤長官がとても楽しくお話下さいました。まず、写真にある3つのクイズです。



とくに「ネットで買う人々」には重要ですが私は間違いました！日本経済の54%以上は家計消費であり、また同じ2018年のGDPの約1%が消費者の被害、トラブル額だそうです。少子高齢化かつ人口減少さらに若者の非正規雇用が増え、高齢者よりも外に出たがらず情報もSNSなどの一方通行が続く時に、どうすればいいのか？...この答は3つの取組が方向づけられる！とまとめられました。

- ①脆弱な消費者を支える地域づくり(おまつり風に地域まるごと)。
- ②だまされない消費者、自分で考える消費者、人づくり(消費者教育=生活者教育..生きていくための基礎知識)
- ③消費者と事業者との協働→未来、次世代のために。



ちなみに写真にある「消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)」は、秋田県は未設置とのこと。県内でも振り込め詐欺などの被害はあるのですから、働きかけが必要と痛感しました。



# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和 2 年 1 月 1 日 (土) 午前 <u>午後</u> 1 時～ 令和    年    月    日 ( ) 午前 <u>午後</u> 5 時	
場所	東京都渋谷区 婦選会館	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 (    )	
同行者名		
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	参加費	1,620
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
		経費合計
実施概要と所感	<p>連続講座⑧「売春防止法に代わる仮称・女性自立支援法の制定にむけて」(主催:公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター)</p> <p>概要と所感は別紙</p>	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

# まちandまちこのHotNews

☆

☆

▶ 売春防止法に代わる仮称、女性自立支援法の制定にむけて

「売春防止法に代わる仮称、女性自立支援法の制定にむけて」

## これまでの記事

▶ 「中学生と高齢者の絆を深める取り組み提案」コンクール

▶ 2020年あけましておめでとうございます

▶ 人口減少時代における地域再生とまちづくり

▶ LGBTとインクルージョン〜誰もが生きやすい社会を考える

▶ AKN子育て支援スキルアップ講座

▶ 第20回地方から考える社会保障フォーラム

▶ 令和元年度秋田県市議会議員研修会

▶ 厚労省いきなりの病院再編！？

▶ 秋田県南地域市議会議員研修会

▶ 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 第30回全国女性交流会

▶ 令和元年度 横手市児童虐待・DV防止講演会

▶ 第41回保育研究所研究会 続編

▶ 第41回保育研究所研究会

▶ 第51回横手市菊まつり

▶ かえっこパズール

▶ ぼげますから、よろしくお願ひします

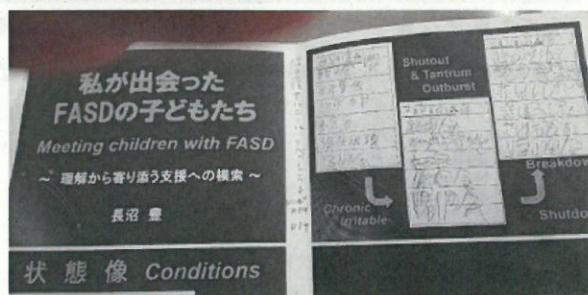
▶ あきた女性九条の会～11周年のつどい

▶ ふれあい祭

▶ 「第2回地域共生社会推進全国サミットin湯沢」No.2

▶ 第2回地域共生社会推進サミットin湯沢

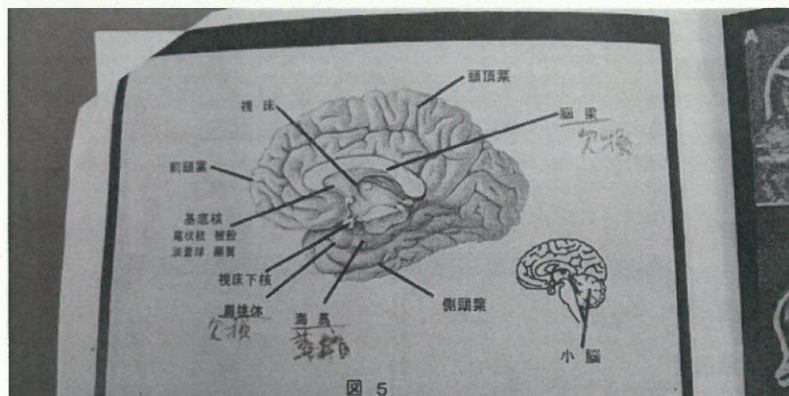
第41回 1月11日、市川房枝記念会主催の講座を受講しました。長年、婦人保護施設いずみ寮で深刻なケースに寄り添って活動してこられた横田 施設長、そして養護施設で多数の困難な子ども達を支援する中、いわゆる発達障害とは全く異なる症状に直面し大変な苦勞を重ねながらその子達の幸せな生き方を模索されている長沼豊氏の講義でした。



私は、最近の残虐な児童虐待の報道について、その母親は自らも受けているはずであろうDVに対し、なぜ子どもを連れて逃げられないのか？悶々としていました。この講座を受けて初めて、複雑で解決困難な歴史、社会構造があることを知りました。

1956年制定の売春防止法...これは刑罰が基本であり「買春」した男は無罪方面...今も？。ようやく2001年にDV防止法ができたのです。売春防止法での処罰を受けた女性達は、行き場のない、生きづらさを抱えた疾病があったり暴力被害を受けてきた女性達であり「検挙」以前に福祉的施策が必要な人達なのだということが強調されました。「どの人にも平等に対応できる法律」を目指して日夜活動されている講師の言葉は大変重いものでした。

その事例のうち、特異な症例「胎児性アルコールシンドローム(FAS)」について衝撃的な解説がなされました。



母親による大量の飲酒 が妊娠3週目にすでに脳などの形成ができず、生まれてから精神や行動面で多くの問題を引き起こし(小学生になって低学年で書けていた文章が学年が進むにつれ書けなくなるなど)、母親はそれを苦にして酒量が増したり死に至る...という悲惨さです。アメリカなどではやっと国をあげて対策に乗り



▶▶ [横手市民文化祭](#)

▶▶ [さかえ地区徘徊見守り訓練](#)

▶▶ [第4回よこてシティハーフマラソン](#)

▶▶ [創作子ども歌舞伎...みごと演じてくれました!](#)

▶▶ [横手南小学校の学習発表会](#)

▶▶ [さかえ小学校の学習発表会](#)

▶▶ [横手市成人を祝う会にむけて非核署名の訴え](#)

▶▶ [地方議会議員のための政策力向上セミナー](#)

▶▶ [行政視察 報告③ \(尾道市\)](#)

▶▶ [行政視察 報告①、② \(新居浜市\)](#)

▶▶ [第66回秋田県母親大会in太田](#)

▶▶ [「いぶりがっこう」入学案内](#)

▶▶ [城南高校 銀杏同窓会総会](#)

▶▶ [緊急地方議員セミナー～幼児教育、保育の無償化と保育行政](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義4](#)

▶▶ [第21期自治政策講座in横浜](#)

▶▶ [第47回市町村議会議員研修会2](#)

▶▶ [第47回市町村議会議員研修会](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義3](#)

▶▶ [第36回議員の学校 ---講義2](#)

▶▶ [第36回議員の学校](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 6](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 5](#)

▶▶ [第11回日本自治創造学会研究大会 4](#)

出したが日本は1950年代に藤沢市民病院産婦人科医師が論文を出しても今なお専門家でさえ、発達障害や個性と捉え適切な医療を施さない場合が多いとのことです。



とても深刻な事態で出生件数が増えているという海外の報告もあります。両講師は「理解から寄り添う支援へ」模索しなければならない!と主張されました。

# 政務活動報告書

議員名 立身 万千子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和 2 年 1 月 2 7 日 (月) 午前 <u>午後</u> 1 時～ 令和 2 年 1 月 2 8 日 (火) 午前 <u>午後</u> 5 時	
場所	東京都 TKP 神田ビジネスセンター	
主催区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
同行者名		
行程及び経費	行程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	横手⇒東京 (高速バス)	7,000
	東京⇒横手 (新幹線)	9,840
	参加費	30,500
	宿泊費	7,100
		経費合計 54,440
実施概要と所感	第 49 回市町村議会議員研修会 in 東京 (主催:株式会社自治体研究所)  概要と所感は別紙	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2 (往復) でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。



## まちandまちこのHotNews

☆

☆

### ▶▶ 第49回市町村議員研修会

「第49回市町村議員研修会」

#### これまでの記事

#### ▶▶ [2020年最初のかえっこばさーる](#)

#### ▶▶ [赤春防止法に代わる仮称女性自立支援法の制定に向けて](#)

#### ▶▶ [「中学生と高齢者の絆を深める取り組み提案」コンクール](#)

#### ▶▶ [2020年あけましておめでとうございます](#)

#### ▶▶ [人口減少時代における地域再生とまちづくり](#)

#### ▶▶ [LGBTとインクルージョン～誰もが生きやすい社会を考える](#)

#### ▶▶ [AKN子育て支援スキルアップ講座](#)

#### ▶▶ [第20回地方から考える社会保障フォーラム](#)

#### ▶▶ [令和元年度秋田県市議会議員研修会](#)

#### ▶▶ [厚労省いきなりの病院再編！？](#)

#### ▶▶ [秋田県南地域市議会議員研修会](#)

#### ▶▶ [治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 第30回全国女性交流会](#)

#### ▶▶ [令和元年度 横手市児童虐待・DV防止講演会](#)

#### ▶▶ [第41回保育研究所研究会 続編](#)

#### ▶▶ [第41回保育研究所研究会](#)

#### ▶▶ [第51回横手市菊まつり](#)

#### ▶▶ [かえっこバザール](#)

#### ▶▶ [ほげますから、よろしくお願ひします](#)

#### ▶▶ [あきた女性九条の会～11周年のつどい](#)

#### ▶▶ [ふれあい祭](#)

第41回  
保育研  
究所研  
究集会

1月27～28日、神田に300人ほどが集まりました。初日は自治体財政の基礎と2020年度予算について、わかりやすいテキストと共に機関銃のような？森裕之立命館大学教授の講義でした。

2日目は長友薫輝三重短期大学教授による「国保、地域医療再編の動向と自治体」についてです。まさに地元大森病院の再編統合問題に直面している私は、根本をつかみヒントを得たい！と思って受講しました。「ハッ」と感じた点をシェアしたいと思います。

※国民健康保険と地域医療(もちろん介護も)は、地域、自治体という視点から一体的に捉えなければ理解できない。どちらも医療を巡る政策動向に由来する。政策を把握し、地域、自治体でできること、求められていることは何か！を把握すべし。

※福祉は、管理される側面と自治、地域活動を育てる側面を持つ。しかし今、国は医療を介護に、介護を地域にと振っていき、ボランティアを動員する方向。また後期高齢者医療は県の広域連合に、国保運営は県にと移行させたが、県の少ない担当者は余裕がない状態。

※社会保障は地域経済の循環を作り出す(1病院で数百人の雇用など)。自己責任や助け合いでは片付かない問題があるから社会保障が発展してきた。

※そもそも社会保障は全世代型(ゆりかごから墓場まで)なのに、アベ政権のいう全世代型社会保障とは...病気になるな！要介護になるな！少なくとも70歳まで(死ぬまで)働け！お上に頼るな！+「フリーランス」化の推進(副業Ok、雇用や労働規制無し、雇い主負担減る、非正規だから国保加入)→国保に影響大。

※公的医療費抑制策(1980年代から継続)=患者自己負担割合を3割に...必要だから医者にかかるのであって高くしても受診抑制には繋がらない。供給抑制(病院減少、病床削減、医師養成数縮小、入院日数短縮→在宅へ→介護保険外しの総合事業、地域包括ケアシステム(財源無し)。予防の重点化→医療費削減のデータはない！TVのCM増加するだけ=産業化、市場化促進。

※厚労省が公表した名指しの病院再編統合も、もとは経産省主導！=内閣、財務省、経産省の意図。

※医療、介護のマーケット化(利益追求は企業の宿命)→総医療費、自己負担は



▶▶「第2回地域共生社会推進全国サミットin湯沢」№2

▶▶第2回地域共生社会推進サミットin湯沢

▶▶横手市民文化祭

▶▶さかえ地区徘徊見守り訓練

▶▶第4回よこてシティハーフマラソン

▶▶創作子ども歌舞伎...みごと演じてくれました!

▶▶横手南小学校の学習発表会

▶▶さかえ小学校の学習発表会

▶▶横手市成人を祝う会にむけて非核署名の訴え

▶▶地方議会議員のための政策力向上セミナー

▶▶行政視察 報告③ (尾道市)

▶▶行政視察 報告①、② (新居浜市)

▶▶第66回秋田県母親大会in大曲

▶▶「いぶりがっこう」入学案内

▶▶城南高校 銀杏同窓会総会

▶▶緊急地方議員セミナー～幼児教育、保育の無償化と保育行政

▶▶第36回議員の学校 ---講義4

▶▶第21期自治政策講座in横浜

▶▶第47回市町村議会議員研修会2

▶▶第47回市町村議会議員研修会

▶▶第36回議員の学校 ---講義3

▶▶第36回議員の学校 ---講義2

▶▶第36回議員の学校

▶▶第11回日本自治創造学会研究大会 6

増える＝企業は面倒を見ない、投げる→結果、公的医療費が増える(オバマ政権時の例...前年比110%の医療費になった)。

※国保の保険者努力支援制度や介護保険の保険者機能強化推進交付金といったインセンティブ(誘導型報奨)が2020年度からは加算のみならず源算も!...この通達に対し秋田県は抗議もコメントも無し!

※私達はどうすべきか＝市町村でネットワークをつくる必要がある...地域ケア会議の持ち方を工夫する。人と接する機会が多い人は健康だが地域全体で健康にならないと効果はない→まちづくりの観点が必須(町内会など旧来の組織があればそれを活用する。総合事業も使い道を考えて活用する)...具体的なヒントを頂きました。



写真は「地域包括ケアシステム」を国が示したイメージです。川上から川下へ流れる仕組みですが、このように一方通行では包括ケアはできないです!